
hedonism pharadox

hedonism

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

hedonism pharadox

【Nコード】

N2810Q

【作者名】

hedonism

【あらすじ】

hedonism pharadox 快樂主義の逆説

遊戯王GX 藤原優介、他

今朝、天上院からジューズを貰った。それは変哲もない普通の飲料で、それを俺に差し出した動機も大したことはない。彼は甘い物が苦手なのだ。だが俺は天上院がわざわざ俺に差出してくれたという事実が嬉しかった。天上院にとって俺は他人ではない、特別という存在なのであると感じられ俺は嬉しかった。

昼、丸藤に叱られた。実地授業中に倒れそうになったからだ。朝食をとらずにジューズだけを喉に流しこむという不摂取と連日の徹夜が祟ったのである。保健室に無理矢理丸藤に連れられ、ここ数日の様子をうかがうと丸藤は俺を叱った。今度からは食事と睡眠をきちんととった正しい生活をしなさい、と生真面目に。俺はその言葉を聴きながら幸せで倒れそうになったのである。ああ俺はこれほどまでに想ってもらっているのかと、心地いい言葉を体で受け止めながらも快楽が止まらなかった。夜、オネストが俺の為に夕飯を作ってくれた。オネストは俺の傍で一日中離れずにいるので俺が丸藤に叱られたことやその理由も無論知っている。その為なのであるのか。実体化すれば己が疲労するのは目に見えてわかっているのに、オネストは俺のためにハンバーグを作ってくれた。あまり食べたくはない気分だったけれどももちろん全部食べきった。俺はなんて幸せなんだろうとふと思った。これほど暖かい友人に囲まれて過ごす今の自分は、今まで頼るべき相手を見出せないまま過ごしてきた自分が嘘のように幸せだ。辛く地獄のような悲しみを味わった過去の自分とは天地の差である。もう戻りたくない。一度味わってしまった幸福と快楽は、まるで麻薬のように病みつきになってしまっている。二度と自分は失いたくはないのだ。家族を、友人を、愛を。そう。だから、

「だから俺は考えたんだ。この幸せを失いたくなくって。でも人は

みな失っていくものだろう？記憶も、命も、なにかも。あの世界は永遠を与えてなどくれないのだ。だけどここは！ここには永遠がある！永遠の友人と家族と愛がある！みながひとつになれば、寂しくなんてないんだ。ここは俺にとって最高に気持ちがいい至高の場所なんだ。吹雪、亮、お前たちもいずれわかるさ。」

心の闇は体を蝕み、侵食し、やがて囚える。だがもうすぐわかるだろう。ここでは地上で味わえない最高の快楽を得られることができるのだ。hedonism paradox、思わぬ最高の快楽を味わいに、ダークネスの世界へ！

（後書き）

藤原優介さんの勧誘話。藤原さん、話が長いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2810q/>

hedonism pharadox

2011年1月26日14時32分発行